



# ① ～南国市の小中学校が変わります～

## 1. 部活動 中学校の運動部活動を地域に移行していきます

これまで学校単位で教職員が指導してきた部活動を地域のスポーツクラブに移行しています。現在、5つのクラブが地域移行して活動しています。

### 総合型地域スポーツクラブ(まほろばクラブ南国)

男子バレーボールクラブ、女子バレーボールクラブ、多種目体験型クラブ



### 地域スポーツクラブ

南国市教育委員会や県中体連などに認められた団体

- ・香長オールスターズ
- ・岡豊ジュニア柔道クラブ



### 今後の予定

- 令和10年度末：可能な部活動を平日休日とも移行（第1ゴール）
- 令和13年度末：残りの部活動を平日休日とも移行完了（最終ゴール）  
（※香長中学校は少なくとも休日の移行を完了）

少子化社会の中でも、子どもたちが将来にわたり運動・スポーツ活動を続けられるよう、さまざまな機会を確保できるよう一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいと思ひます。地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

## 2. 南国市ゆるやかな学期スタート

南国市では、年度当初に児童生徒理解の情報共有をする時間や、防災・防犯・救急対応など、子どもの安心安全を守るための体制をつくる時間を十分に確保するなど、子どもに寄り添った教育が更に推進されるように務め、教育の質(教育的効果)の向上を目的に『ゆるやかな学期スタート』を継続して実施していきます。

### 1学期

4月10日(始業式・入学式)  
4月10日以降は**1週間程度を半日授業**とする。  
(給食後放課)

### 2学期

各校の実情により開始日を決定  
令和8年度 小学校：9月 1日(始業式)  
中学校：8月27日(始業式)  
始業式以降は**1週間程度を半日授業**とする。(給食後放課)

### 3学期

1月8日始業式  
【※今まで通り、変更なし】  
1月8日以降は**1週間程度を半日授業**とする。  
(給食後放課)

■問い合わせ/学校教育課学校教育指導係 ☎088-880-6568

# 🔊 第2期南国市DX推進計画策定のためのパブリックコメント募集

市役所の手続きをスムーズにするなど住民の利便性向上を目指すため、南国市DX推進計画を定めて南国市の地域と行政のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を進めています。第1期計画が令和7年度で終了することに伴い、第2期計画の素案を作成しましたので、皆さまのご意見をお寄せください。

- 提出締切/3月10日
- 提出方法/パブリックコメント受付フォーム、または所定の様式(ホームページ・企画課で配布)を持参・郵送



■提出先・問い合わせ/企画課 ☎088-880-6553

## 2011年3月11日 東北地方太平洋沖地震発生

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から今年で15年を迎えます。当時、津波が沿岸部を襲う映像を目の当たりにした多くの方が「現代の日本でまさかこんなことが…」という思いを持ったことでしょう。発生直後から「想定外」という言葉が盛んに使われるようになりました。この震災の犠牲者(19,782人)のうち**90%以上が津波に関係して亡くなられた**とされています。巨大な津波をもたらしたこの地震は日本海溝沿いのプレート境界で発生しました。



搜索活動にあたる南国市消防団(平成23年当時)

東日本大震災による被害	死者	行方不明者	負傷者	住宅全壊	住宅半壊
	19,782人	2,550人	6,242人	122,053棟	284,074棟

《東日本大震災による被害》 ※「理科年表(令和8年版)」から抜粋

## 20XX年XX月XX日 南海トラフ地震発生

今後30年間で60~90%以上

一方、私たちの住む南国市では南海トラフ沿いのプレート境界で起きる「南海トラフ地震」の発生が想定されています。東日本大震災をもたらした地震(東北地方太平洋沖地震)と同じ仕組みで発生する南海トラフ地震では、やはり大きな津波被害が想定されています。プレート境界型地震は繰り返し発生します。津波の襲来は「想定外」ではありません。前回の南海トラフ地震からすでに80年が経過しており十分な備えが必要で

津浪と人間  
昭和八年三月三日の早朝に、東日本の太平洋岸に津浪が来襲して、沿岸の小都市村落を片端から薙ぎ倒し洗い出し、そうして多数の人命と多額の財物を奪い去った。明治二十九年六月十五日の同地方に起こったいわゆる「三陸大津浪」とほぼ同様な自然現象が、約満三十七年後の今日再び繰り返されたのである。  
(寺田寅彦 昭和八年五月)

【地震雑感・津浪と人間 寺田寅彦随筆選集】(千葉俊二・細川光洋編・中公文庫)から抜粋

南海トラフ地震による南国市の被害想定(最大想定)	死者(うち津波)	負傷者	住宅全壊	住宅半壊
	3,200人(2,800人)	3,000人	11,000棟	9,000棟

※「[高知県版]南海トラフ巨大地震による被害想定」(H25.5.15・高知県)から抜粋

## その時…津波から命を守るために

津波浸水の恐れのある所から全員がすぐに避難した場合、大幅に津波による犠牲者を減らすことができるという試算があります。津波から命を守るためには、地震発生後、躊躇せず避難するしかありません。普段から津波緊急避難場所を確認し実際にその場所まで行ってみるなど、いざという時すぐに行動を起こせるようにしておきましょう。



■問い合わせ/危機管理課 ☎088-880-6575